

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 2 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---------------------------------------|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 35 | 火災や地震、水害など災害時におけるグループホームとしてのマニュアルがない。火災以外は訓練を行っていない。 | 火災対処マニュアルを作成する。 | 消防署に相談しながら、当グループホームのおかれた状況に適した実現可能な火災対処マニュアルを作成する。 | 3ヶ月 |
| 2 | 13 | 職員の定着は改善の方向にあるが、個々の職員間の経験、実力にばらつきがあり、全体として能力向上を図る必要がある。 | 職員全員の、能力を査定し、長所、短所を把握し、当人に応じた個別指導をする。 | 職員の育成表を作成し、個別に段階を踏まえて、能力向上を図る。 | 3ヶ月 |
| 3 | 49 | 季節的に、感染症や風邪の危険があるので、外出は、あまり出来ていない。 | 気候の良いときには積極的に、散歩や買い物を楽しめるようにする。 | 室内レクと外出を交互に行う。 | 3ヶ月 |
| 4 | 2 | 区とのつながりはあるが、ご近所とのつきあいは、業務にかまけて、あまり出来ていない。 | ご近所と自然な近所づきあいができる。 | 利用者の外出の際に、挨拶や自然な会話ができるようにする。 | 6ヶ月 |
| 5 | 3 | 実習や見学は受け入れており、一定の地域への貢献は行っているが、地域にとけこむような貢献はできていない。 | 貢献を通して地域にとけこむ。 | グループホームで行う催し物に地域の老人会の人を2, 3人招待する。 | 8ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。